

令和2年度 運営計画

社会福祉法人 公生会

令和2年3月17日で、特別養護老人ホームとまとの里は開設して丸2年となります。一つの組織がきちんと出来上がり整うまで5年はかかると言われていましたので、当施設はまだまだといったところでしょうか。とはいえ、昨年の同時期に頭を悩ませていた職員の退職については非常に落ち着いた状態にあり、各部門長や各種委員会を中心に基本的な組織の形はできあがったと感じています。またこれまで2回実施された大分市指導監査のお陰で、各種記録なども整備されてきたように思います。

そこで次の問題となってきたものは質の向上です。これまでとにかく時間や量に追われ、仕事をこなす、現場をまわすことに集中してきました。それが整ってきた今、その方法や技術を求められるようになったことと、そうした『行っていることの見える化』、つまり地域密着型施設としての責務である、地域に開かれた施設にすることを目指す段階に入ったと考えます。

令和2年度の総合的な目標として【理念を理解し、実践する】と掲げました。当施設の理念には『親愛・実践・謙虚』と、まさにこれからの質を上げるための基本的な言葉があります。その理念を漠然としたものではなく、職員一人一人が意味を理解し、その意識の変化が具体的な行動にでることで、ご利用者様・ご家族様にとって居心地の良い施設、職員が働きやすく活気がある施設になると考えたからです。

基本方針についての大きな柱は昨年度と変わりありません。これは大きく目指す課題はそのままに、具体的な項目について昨年度達成できなかったものや、達成して新たな段階に進んだものを取り組む項目として挙げたためです。

■運営基本方針

◇地域交流と地域での役割の確立

- ①地域や地元からのボランティア等の受け入れ態勢の確立、又地域交流室開放の広報を行い、地域交流の場をつくる。
- ②大分市福祉避難所の協定を継続し、災害時等に必要な支援ができるよう設備を整える。→**備蓄品などの整備**
- ③地域と共同で避難訓練や消防訓練を行い、地域からの協力体制を確立する。

◇ユニットケアの確立とサービスの向上

- ①ユニットケアに取り組むべく、入所者ごとの生活パターンの把握とケアの見直しを繰り返し行う。
- ②ケア向上委員会を中心とし、サービスの基本である接遇マナー（挨拶・笑顔・丁寧な言葉使い等）の向上を図る。→**満足度調査を実施、その回答を元に具体的な改善方法を検討する**

- ③ユニットリーダー研修、その他技術向上やケアの適切化などの研修に職員を派遣し、職員全体のスキルアップを図る。→各部門長指導・教育の徹底。各部門・各種委員会における目標の設定

◇看取り介護・医療的ケアの推進

- ①配置医師との連携強化により入居者様・ご家族様が望まれるケアを提供できるように努める。
- ②看取り介護マニュアルを周知し、職員が不安なく看取り介護に取り組める体制づくりに努める。→ターミナルケア委員会を中心とした夜間緊急時における連絡体制の明確化

◇苦情解決や環境改善に取り組み、入居者様から信頼される施設をつくる。

- ①「苦情受付担当窓口」を設け、入居者様・ご家族様からの苦情に速やかに対処し、解決を図る。→苦情受付様式の変更により苦情申出者に回答まで完結させるシステム作り
- ②「身体拘束廃止マニュアル」に基づき入居者様本人または他入居者様の生命または身体を保護するため、緊急やむをえない場合を除き、身体拘束その他入居者の行動を制限する行為を行わないことを職員に徹底する。
- ③ヒヤリハット、事故報告書の分析結果に基づいて立てられた予防策について定期的に検証し直し、再発防止に努める。→事故防止委員会を中心とした再発防止策の検討
- ④福祉サービス相談委員会を開催し、施設内で解決にいたらなかった問題に対して、第三者の協力を仰ぎ解決に取り組む流れを確立させる。